

何ができるように
なればいいのか?

どう計画
すればいいのか?

どう評価すれば
いいのか?



令和6年度
西部教育局
学校教育担当
の取組より

学力向上担当

全ての子供が
「わかった」「できた」を実感できる授業

【学校の目指す授業・研究の姿】

- 本時で身に付けるべき指導事項が明確な授業
- 指導と評価の一体化が図られた授業
- 学びの場を最大限に活用した授業
- 全ての子供が学びを実感できる授業展開の充実
- ミドルリーダーを活用した若手教員の育成
- 全ての教員が授業力向上に取り組む研究組織

【局の主な取組】

- 各種研修会の開催
- 島根大学との連携
- 単元到達度評価問題
- 単元たしかめ問題
- B-PLAN問題
- 校内研究推進による授業力アップ事業

連携・協力

学習指導要領
指導と評価の一体化

めあて・まとめ・振り返りの
質的向上と展開の充実

ICTの効果的
活用

① 単元全体及び1単位時間ごとの授業の指導事項を確認します。

どのような資質・能力を
育成するのか、学習指導
要領(解説)で確認しま
しょう。

「学習指導要領 解説」



小学校

中学校



(例) 小学校第6学年 社会
明治中・後期から大正期までの学習

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (イ) 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解すること。
- (ロ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

② 単元(題材)全体(ゴール)を見通した単元を計画します。

※ 社会科では、問題解決的な学習過程を
充実させるために、単元を通した学習問題を
設定することが大切です。

小単元等の時間配分や1時間
ごとのつながりを考え、1単位
時間の授業の押さえどころを
明確にしましょう。



つかむ
場面
1時間

調べる
場面
4時間

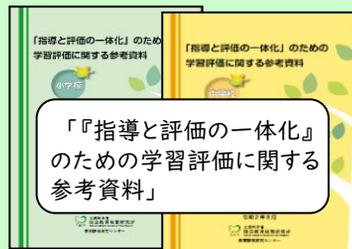
まとめる
場面
1時間

1	学習問題をつくる。 例:条約改正は国内外にどのような影響をあたえたのだろうか。
2	産業の発展と条約改正のつながりについて調べる。
3	日清・日露戦争による日本と世界の国々との関係の変化を調べる。
4	世界の中での日本の立場の変化について調べる。
5	産業の発展による人々の生活や社会の変化について調べる。
6	調べたことをもとに、学習問題についてカードや文章でまとめる。

③ 評価規準(Bと判断する状況)を具体的に設定します。

「〇〇を理解している。」「〇〇の内容がノートの記述に見られる。」等、
右の参考資料(特に第3編)を参考にして、子供の姿や学習状況を具体的に設定し、適切に評価しましょう。

3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のどれを評価するか明確にして設定しましょう。



「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」



小中学校ともに、こちらからダウンロードできます!